

浦上川水系洪水ハザードマップができました

このハザードマップは、浦上川流域で想定される最大規模（昭和57年長崎大水害の約2倍）の降雨で、浦上川が氾濫した場合に想定される「浸水区域」「浸水深さ」と「避難所」など避難に関する情報を表示したものです。

※対象河川以外の川や道路側溝からの氾濫、流木などの流れ込みで川がせき止められて生じる氾濫などは考慮していませんので、区域外で浸水が発生する場合や、想定の上浸水深さが実際と異なる場合があります。対象河川（浦上川、城山川、三川川、大井手川、下の川、油木川、岩屋川）

ハザードマップとは？

洪水や土砂災害など、過去の災害データや地理情報をもとに、それぞれの地域で起こる災害を予測し、避難に関する情報や影響が想定される範囲を地図にしたもの。

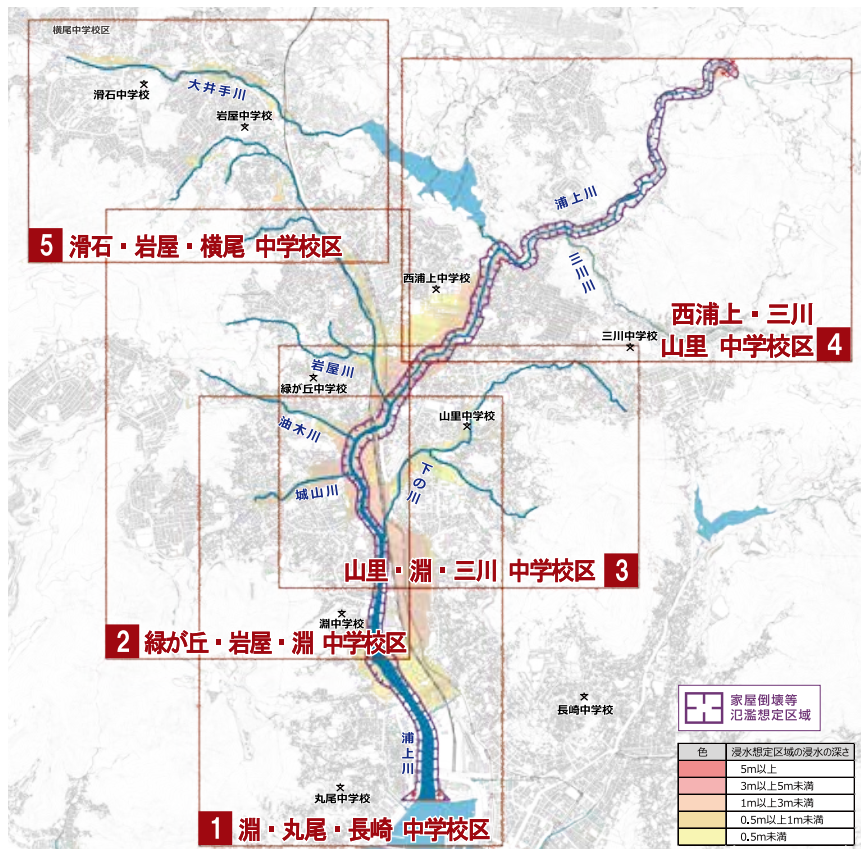
ご自宅や日頃利用する場所で想定される浸水深さや最寄りの避難所・避難経路を確認しましょう。

詳しい内容は市ホームページで

各区域（1～5）の拡大図などを掲載。近隣には3月末までにお配りしています。



ハザードマップ全体図



家屋倒壊等氾濫想定区域 洪水により家屋倒壊のおそれがある区域

【想定浸水深さ】	
5m～	2階の屋根以上が浸水
3m～5m	2階の屋根まで浸水
1m～3m	2階の床下まで浸水
0.5m～1m	1階の床下まで浸水
～0.5m	1階の床下まで浸水

水平（立退き）避難

浦上川が氾濫していなくても強い雨や内水氾濫により避難が困難となる場合があります。早めの避難を心がけましょう。

垂直避難

想定浸水深さが3m以下で、屋外への避難が困難な場合は2階などの屋内で安全確保！

〈広告〉